

RI会長
田中作次

専任を通じて平和を

静岡東ロータリークラブ

会長/戸塚敦雄 幹事/杉田至弘

事務局/静岡市葵区伝馬町9-3 芝田ビル3F TEL054-254-5611

例会場/ホテルアソシア静岡 例会日/毎週 木曜日12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>会長
戸塚敦雄

第 2599 回例会

平成 24 年 12 月 13 日 天候 晴

《司 会》 杉田至弘 君

《合 唱》 「我等の生業」

《BGM》 「あわてんぼうのサンタクロース」

《ゲスト》 静岡県農林技術研究所
農村植生管理プロジェクト上席研究員
農学博士 稲垣栄洋 氏

《ピジター》 なし

《本日のお祝い》

お誕生日

結婚記念日

12月18日 由利浩志 君

12月21日 高田雅司 君

12月21日 川崎依子 君

12月25日 木津 誠 君

《会長挨拶》

皆さん こんにちは

先日は第4分区の会長・幹事会が開催され、来年のインターシティーミーティングの案内がございました。日本平RCがホストクラブで2月3日(日)に当ホテルアソシア静岡にて開催されます。登録料は5,000円ですが、各クラブ20名の参加が要請されています。来年は清水北RCがホストで、翌年が東クラブの当番となっています。各クラブ共財政事情が厳しく5,000円の登録料は値上げして欲しくないそうですが、ホストクラブは約50万円の赤字(持ち出し)となり運営が厳しいようです。

さて、本日はインターシティーミーティングにご参加できない会員さんのために当日の基調講演の先生の著書を御紹介致します。IMのテーマは「海洋資源による地域活性化・目指そう地球探査船『地球』の清水港誘致」というものですが、本日御紹介する本は講師の東海大学海洋学部教授・山田吉彦の「日本は世界第4位の海洋大国」という講談社の+α新書です。

日本の陸地(領土)の面積は世界で61番目です。しかし、日本が他国を排除して、経済的な様々な権益をも

つ海域である「排他的経済水域」と領海を足した面積は、世界で6番目の広さであり、更にこれに「深さ」要素を加えて3次的にみると世界の4番目の大きさになるそうです。「排他的経済水域」は海の憲法といわれる「国連海洋法条約」により、沿岸から200海里(約370km)までの範囲を設定することが認められていて、その境界が隣国と接して水域が重複する場合には両国の合意で決められますが、一般的には両国の沿岸からの中間線をもって境界とします。しかし例によって中国のように自国の主張だけを優先して隣国の主張を全く無視する国もあります。

「排他的経済水域」においては、次の3つの重要な権益が認められています。

1. 海底に眠る資源を調査して開発する権利。注目を浴びているメタンハイドレードや、海底熱水鉱床等に含まれるレアメタルの採掘が期待されています。
2. 海中を調査して、海水中に浮遊する資源等を利用する権利。塩を構成するナトリウムをはじめとする多くの元素を採取する技術の研究が進めば海水そのものが無尽蔵な物質の供給源となります。
3. 漁業管轄権ですが、日本にとっては日本沿岸の北西太平洋は世界3大漁場といわれるほど漁業資源が豊かで、沿岸200海里までは漁業資源を独占できますが、各国が200海里の排他的経済水域を設定したために日本の遠洋漁業が壊滅的打撃を受けてしまいました。

又、日本の海は世界1の種の宝庫でもあります。世界中の海に生息する生物の内の14.6% 3万3629種の生物が、日本の海で確認されています。

著者はこのような『日本の海』を利用すれば、広大な陸地をもつ大国にも太刀打ち出来るとして、日本がこれから築き上げていく海洋開発の技術革新に期待しています。

詳しくは、御都合がつけばIMにご参加頂くか、「日本は世界4位の海洋大国」山田吉彦著：講談社をお読み頂ければ幸いです。

《来賓卓話》

「童謡・唱歌を解く科学的視点」

農村植生管理プロジェクト上席研究員

農学博士 稲垣栄洋 氏



皆さん雑草は強いと思っておられませんか？実は雑草は非常に弱い植物で、弱いからこそ生存競争が少ない厳しい環境でも生き抜いていると言えます。

雑草は踏まれても立ち上がると思っておられませんか？雑草は踏まれると絶対に立ち上がりません。立ち上がる程、強くないので寝たまま生き抜いていくよう進化した植物です。

このように、「どうでも良いもの」でも研究すると見えてくる真実があります。

童謡は子供の歌です。しかし、子供は歌詞を理解して歌っているのでしょうか？私自身を含めて意味を理解せず世代を越えて歌い続けてきたと思います。大人になって自然科学の観点から学者の目でみると童謡の歌詞から興味深い情景が読み取れます。

「蝶々」では、蝶は花でなく葉に止まると歌われております。更に葉から葉へと次々と移動していきます。どうして、花でなく葉なのでしょう？これは自然科学的に考えると正しく正確に観察された情景の歌詞です。この歌の蝶は「モンシロチョウ」で、油科の植物の葉に産卵する習性を持っています。また1枚の葉に1粒だけ卵を産み付けます。従って産卵期には葉から葉へ次々飛び移りながら産卵を行います。また菜の花はまさしく油科の植物で、この歌詞の情景は自然科学的にも正しいと言えます。

日本国内に生息する赤とんぼは21種ですが、「赤とんぼ」の歌詞に出てくる赤とんぼが歌詞から特定できます。赤とんぼのとまりかたには種毎に特徴があり棒の先端部にとまるのは「アキアカネ」という種だけであることから「とまっているよ、竿の先」のフレーズで判断できるのです。

「故郷」の鮎はどうして「小鮎」なのでしょう？研究してみると、「大鮎」でなく「小鮎」が正しいことがわかりました。鮎はサケやマスと同様、大人の成体は大きな川で生息しますが、産卵期は小川に遡り最終「田圃」で産卵を行う習性を持っています。従ってのどかな田園風景が広がる場所で子供が釣りをを行うであろう小川では、孵化して間もない小鮎しか生息していないことは自然科学的にも正しいと言えます。

世代を越えて歌われ続けたこの日本の情景は、今はどうでしょうか？「モンシロチョウが飛びかう菜の花畑」、「夕焼けに映える赤とんぼ」、「大川、小川、田んぼを回遊する鮎」の情景がある我々世代が当たり前と感じていた「故郷」は残っているのでしょうか。すっかり、「菜の花畑」は見なくなりましたし、「アキアカネ」は現在、絶滅危惧種に指定されております。鮎が産卵できる「田圃」はまず、国内に残っていないと



思われます。変わらない「故郷」があるから自分自身が変わることができると思います。また帰る場所があるから、どこまでも遠くへ行けるのだと思います。一

見、「どうでも良いもの」に思える雑草、蝶、とんぼ鮎も我々が「変えずに」後世へ伝えるべき大切なものではないでしょうか。

《スマイル報告》

戸塚敦雄 君 昨日の静岡新聞朝刊に「静岡平喜酒造」の紹介記事を書いていただきました。本日の午前中に、新酒の初搾りが出来ました。感謝してスマイル致します。

佐野哲一 君 グランドキャニオンをセスナで舞ってきました。核実験はなるほどネバダだと実感した次第。ついでにシリコンバレーはサンノゼのインテル本社と広大な敷地を有するスタンフォード大学に寄ってきました。米国のIT頭脳集約地です。当然ながらフィッシャーマンズワープで蟹も食べてきました。

由利浩志 君 誕生日のお祝いありがとうございます。60代最後の誕生日です。健康チェックをしっかりとがんばります。

川崎依子 君 誕生日のお祝いをありがとうございます。幾つになっても祝っていただき、プレゼントをいただけるのはうれしいですね。時期的に学生時代から飲み会の口実になっていましたが、今年も21日当日には女子会があります。楽しい一年にしたいと思います。感謝してスマイルします。

高田雅司 君 結婚記念日のお祝いのお花、ありがとうございます。毎年例会の席(幹事報告)で思い出します。

寺内秀夫 君 今年一年のロータリアンの愛情に感謝してスマイル！！

杉本幸子 君 卓話で稲垣栄洋様をお迎えし、興味深いお話をお聞きできたことに感謝してスマイルします。

《出席報告》

	会員数	出席	欠席	MU	完全欠席	確定出席率
12/13	57(54)	43	11	-	-	-
12/6	57(55)	43	12	-	-	-
11/29	57(55)	46	9	4	5	90.91%